

2022年度 上期決算説明会

2022年12月9日（金）
株式会社パイオラックス
（コード：5988）
代表取締役社長 島津幸彦

目次

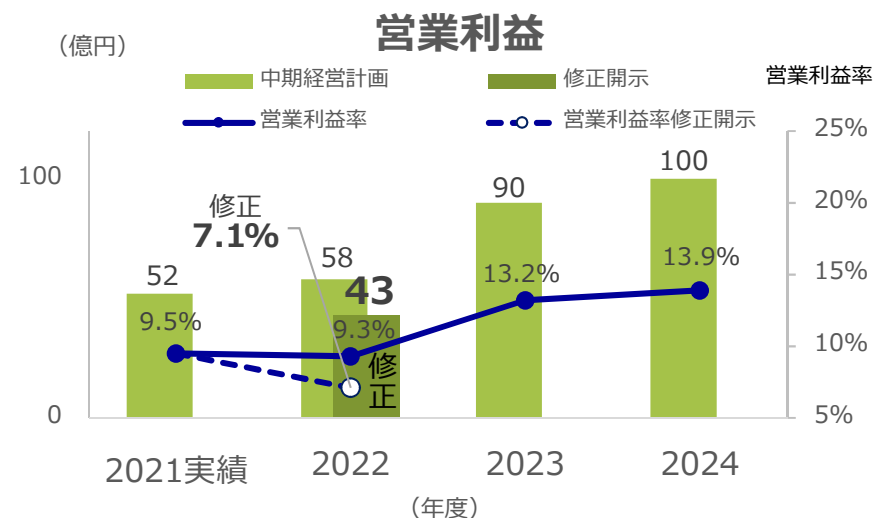
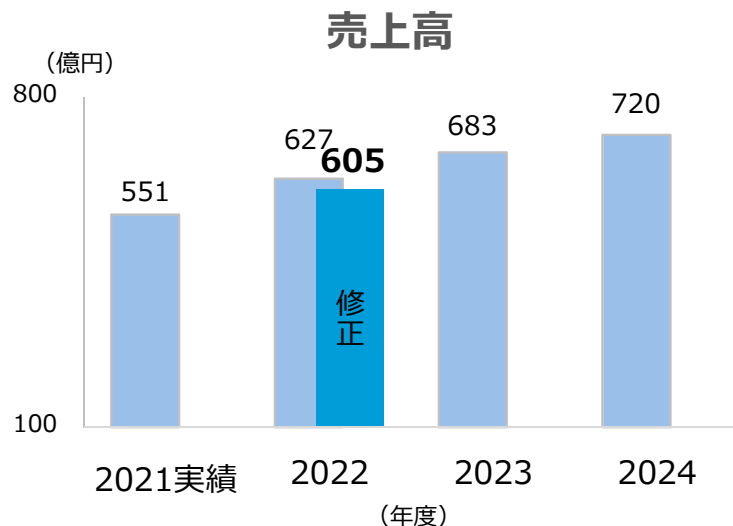
1. 中期経営計画進捗状況
 - 1. 経営指標
 - 2. 経営戦略の進捗状況

2. 医療機器事業の現況と展望
 - ・ 佐藤パイオラックスメディカルデバイス社長

中期経営計画進捗状況

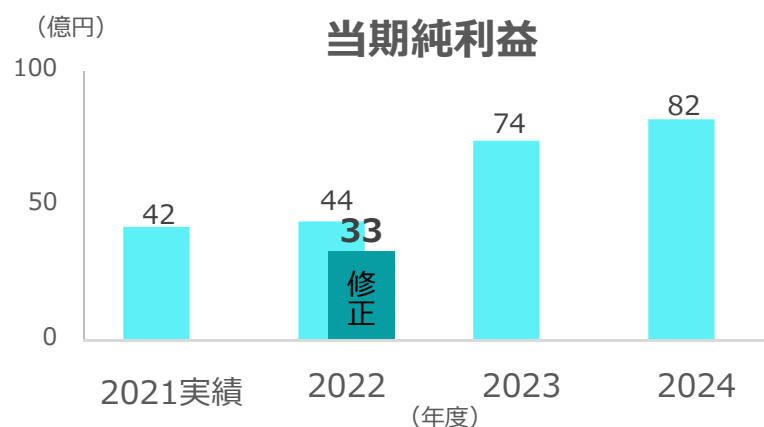
経営指標 -1

中期経営計画（2022-2024）進捗状況



2022年11月9日修正開示

当初計画策定時の想定を下回る客先の生産減。
為替差益あるものの、従来の3大リスク（①半導体供給不安、②材料供給問題及び価格高騰、③物流コスト高騰）に併せ、エネルギーコスト増の影響あり。

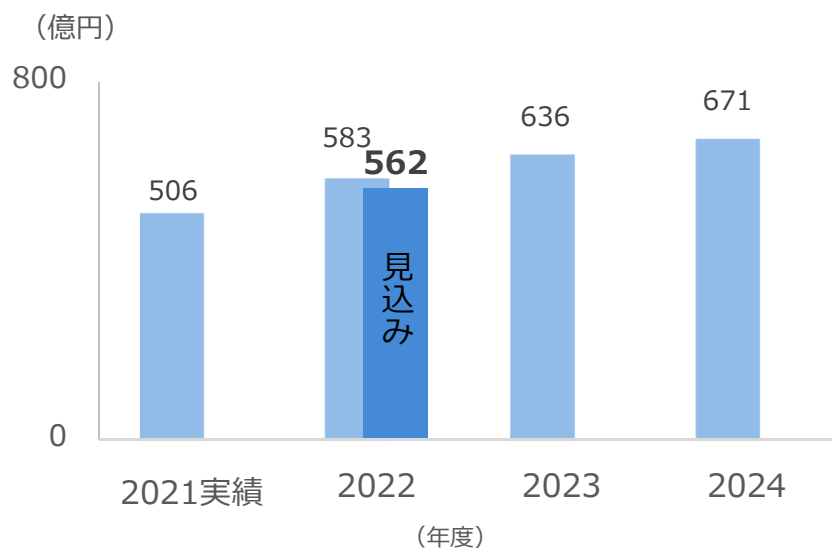


経営指標 -2 セグメント別

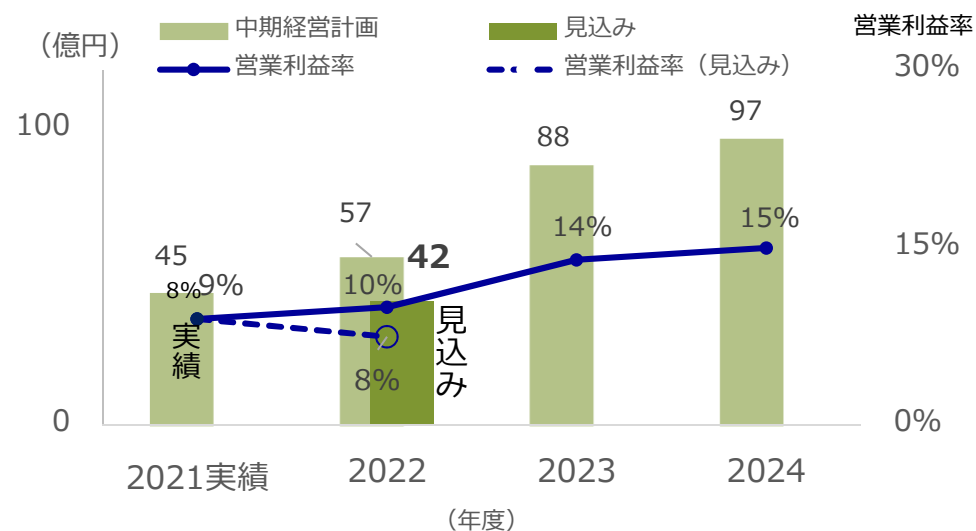
自動車関連等 中期経営計画

- ・ 下方修正要因：自動車生産台数減
- ・ 下期：客先生産台数の回復により挽回を見込む。
合理化活動の更なる推進。

売上高



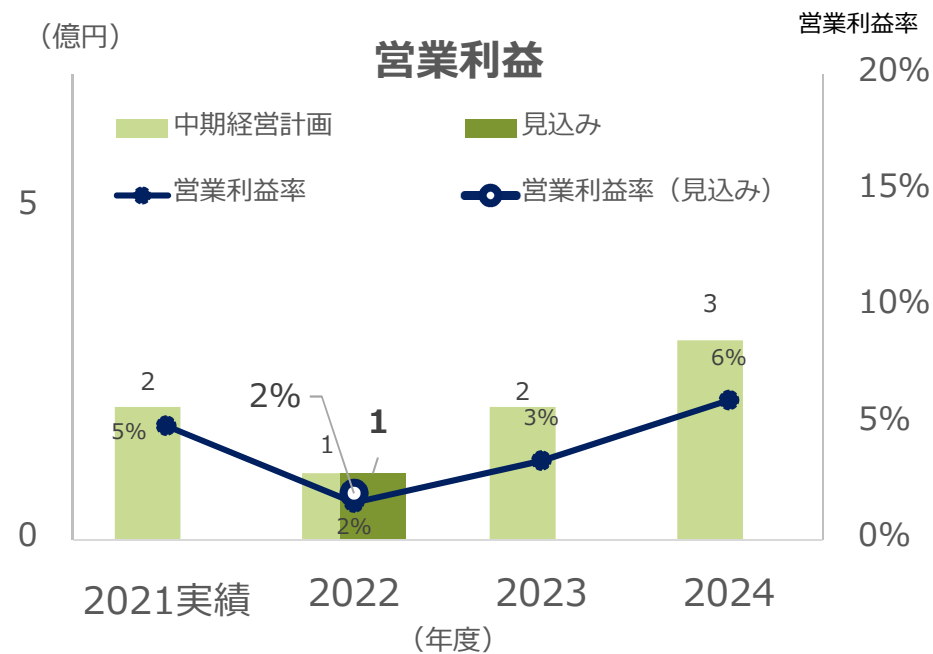
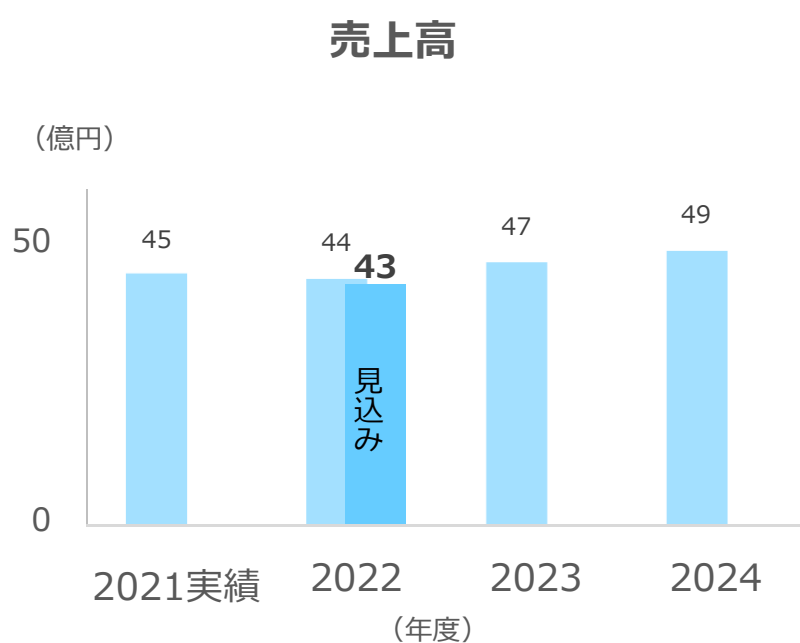
営業利益



経営指標 -2 セグメント別

医療機器事業 中期経営計画

- ・売上高は計画比微減、営業利益は計画比増見込み。
- ・詳細は「医療機器事業の現況と展望」にてご説明。



経営戦略の進捗 自動車関連-1

経営戦略・重点取り組み課題	中期経営計画	2022年度状況
1. 商品・顧客戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・CASE対応商品開発と受注 ・顧客・製品の多角化 ・製品ごとの利益率最大化 ・グローバル高品質の実現 	CASE対応加速	4月 CASE対応の専担部門“e商品開発部”設立
	海外OEM売上比率 2024年度： 16%	2022年度上期：14%
	新車台当たり単価の向上 2024年度： +10% （2021年度比）	2022年度上期時点 主力7車種 +30%
	新品質保証体制による品質向上	4月 新体制始動
2. 事業戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の発掘 	既存の自動車関連、医療機器事業以外の新規事業発掘	4月 第3の事業を発掘する専門部署“MIRAI事業部”設立
3. 地域別戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・北米・中国拠点の売上拡大 ・アセアン拠点の収益力拡大 ・欧州大陸戦略検討 ・地域統括機能強化 	北米（米国・メキシコ）／中国拠点売上拡大 2024年度 売上高比率（海外全体） 北米／中国 各 35% 維持	2022年度見込 北米：37%、中国：35%
	新たな欧州大陸戦略 非日系（ドイツ）OEM 拡販強化	2月新設のデュッセルドルフ駐在員事務所による活動開始
	アセアン・インド拠点の収益力向上 2024年度営業利益率： 15%	2022年度見込：9%

経営戦略の進捗 自動車関連-2

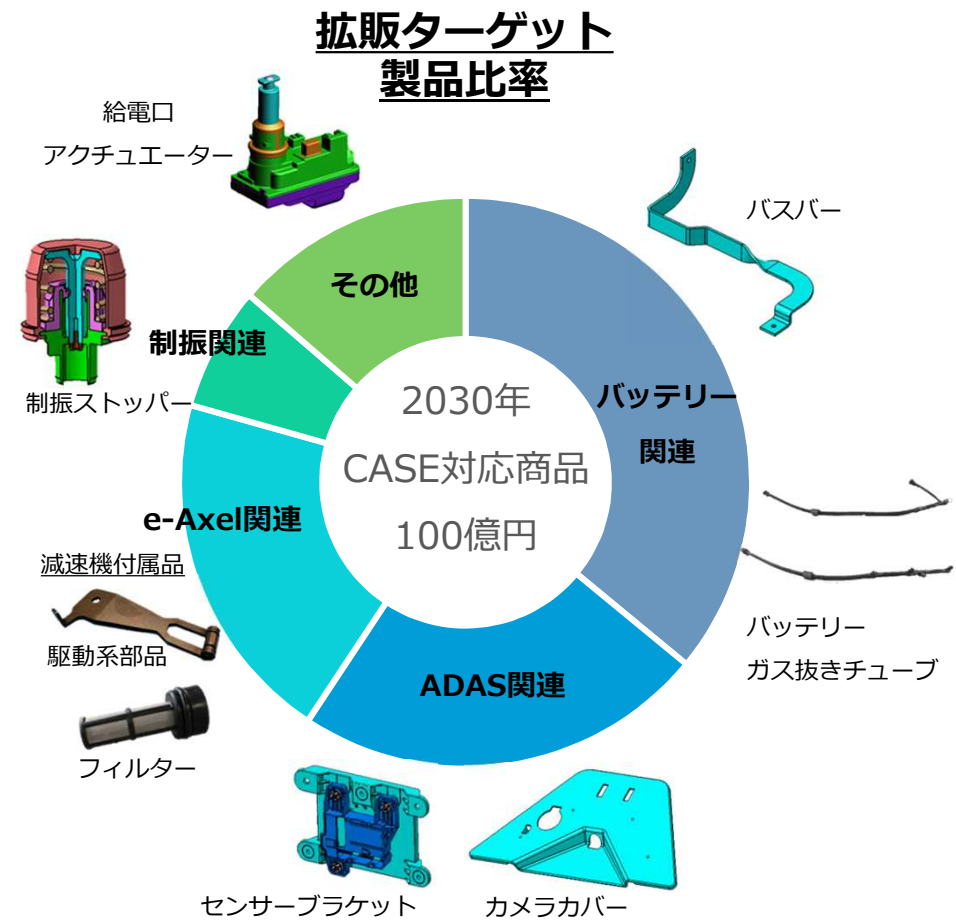
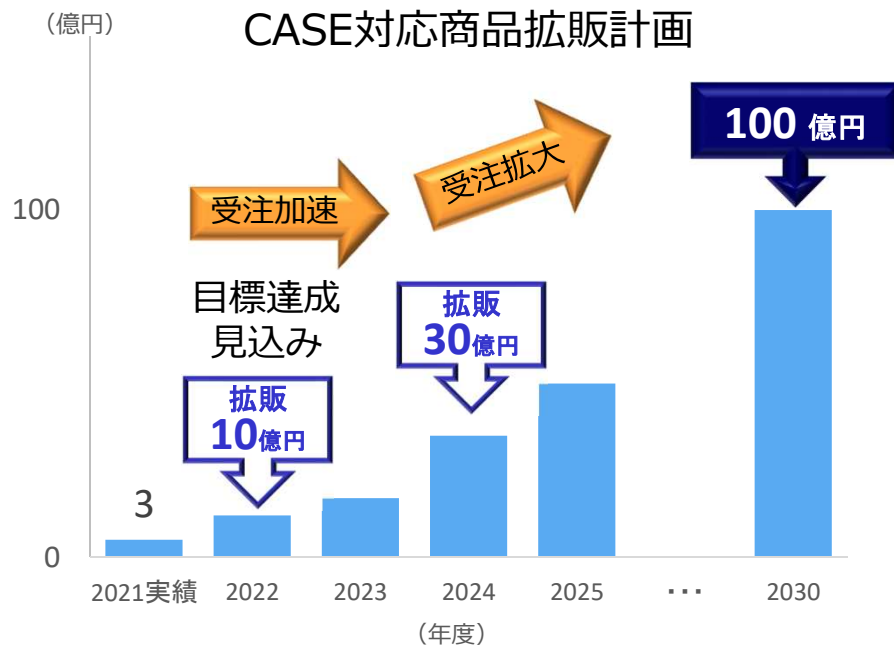
経営戦略・重点取り組み課題	中期経営計画	2022年度状況
4. 成長投資戦略 <ul style="list-style-type: none"> 国内インフラ整備 研究開発投資強化 DX推進 	新真岡工場 2023年度 第1期工事完了・稼働 2024年度 第2期工事着工	12月 新真岡工場建設本格 スタート
	CASE/新規事業への投資強化 研究開発費 売上高比率 2024年度：1.5%	CASE対応商品の開発加速 2022年度上期：1.4%
5. 経営資本戦略 <ul style="list-style-type: none"> 資本効率の追求 株主還元 ESG経営の推進 	2022-2024年度 配当性向100%	2022年度上期 配当性向100%
	ESG目標の推進 <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルに向けた対策推進 TCFD開示情報の向上 ダイバーシティ推進 ガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> 11月 サステナビリティレポート発行 海外拠点TCFD関連活動開始 人財育成方針策定

CASE対応の加速

CASE対応商品の専門部署“e商品開発部”を新設（2022年4月）

【2022年度取り組み】

- 受注獲得進む。2022年度上期計画は達成。通期目標も達成見込み。
- 新規客先との取引に向けた関係強化。
- 今後、新真岡工場における生産を計画。



顧客・製品の多角化

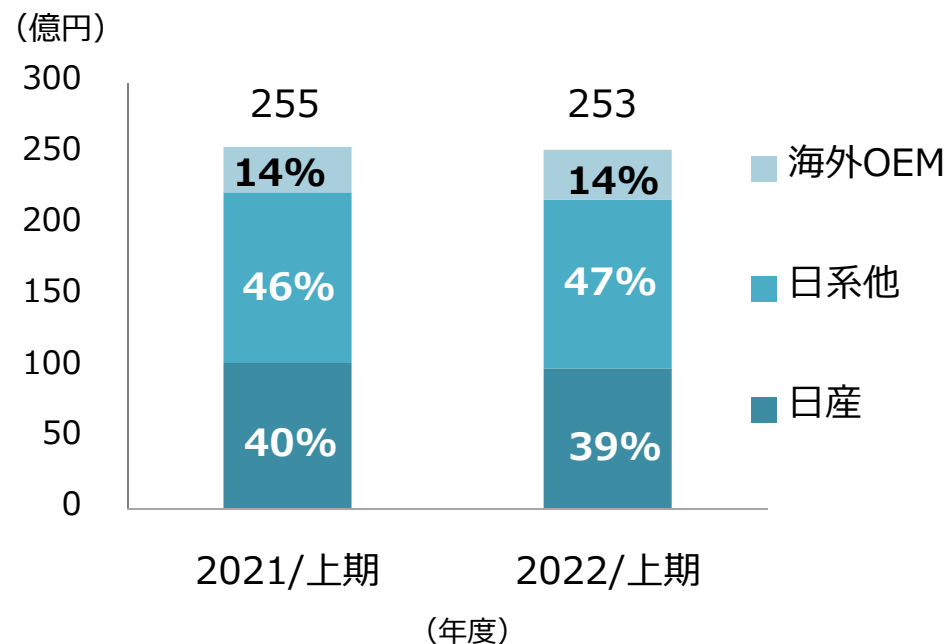
2024年度目標

- 海外OEM売上高比率 16%
- 新車台当たり受注額 +10% (2021年度比)

日系OEM主力7車種
新車台当たり単価伸び率 (国内)
2022年度上期時点

	伸び率
A車	+53%
B車	+14%
C車	△16%
D車	+17%
E車	+25%
F車	+80%
G車	+37%
平均	+30%

OEM別売上高と構成比



設備投資・減価償却

国内インフラ整備を主体とした将来の飛躍に向けた設備投資

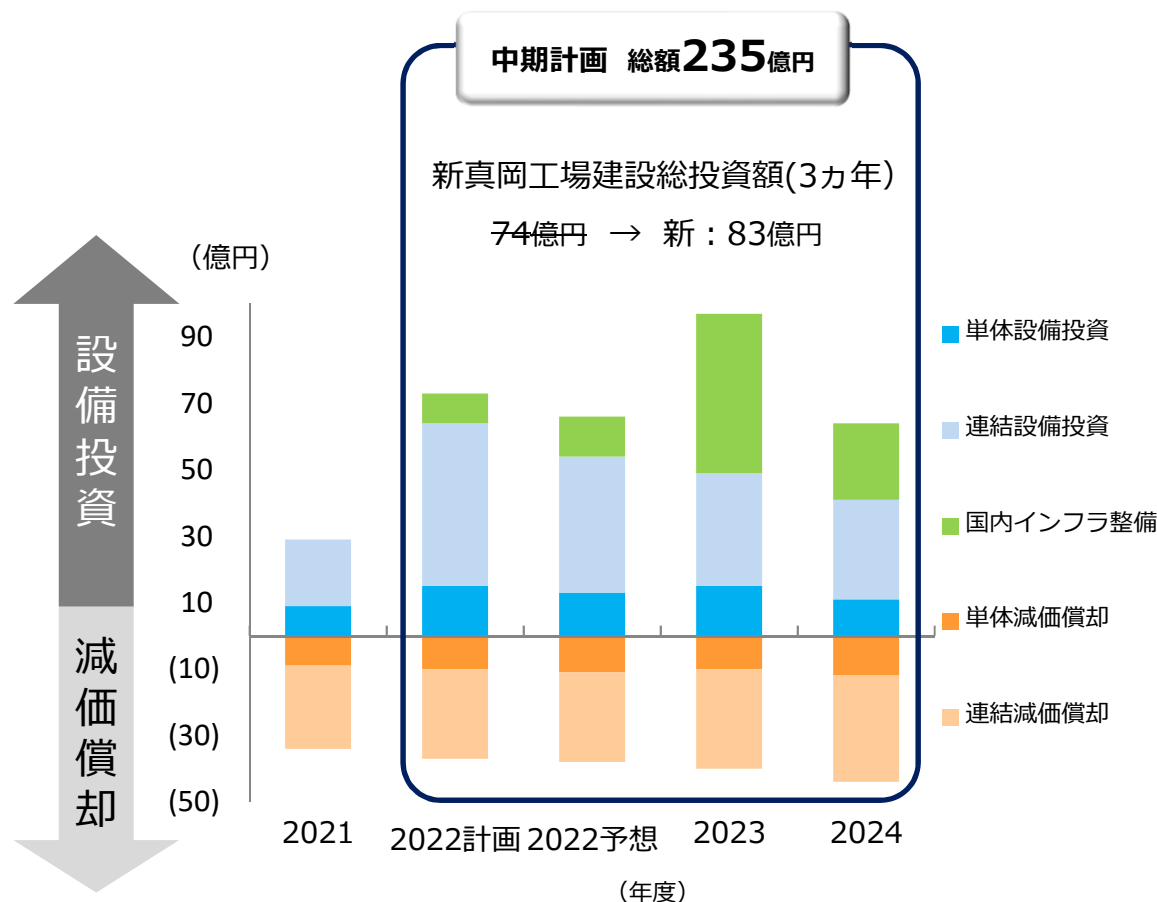
【2022年度】

- ・新真岡工場建設本格スタート
- ・グローバルで自動化／省人化設備導入

【2023年度以降】

- ・新真岡工場稼働
- ・横浜地区リニューアル計画
- ・環境対応に向けた設備導入
- ・設備追加、資材高騰等による新真岡工場建設費用増加

設備投資・減価償却推移

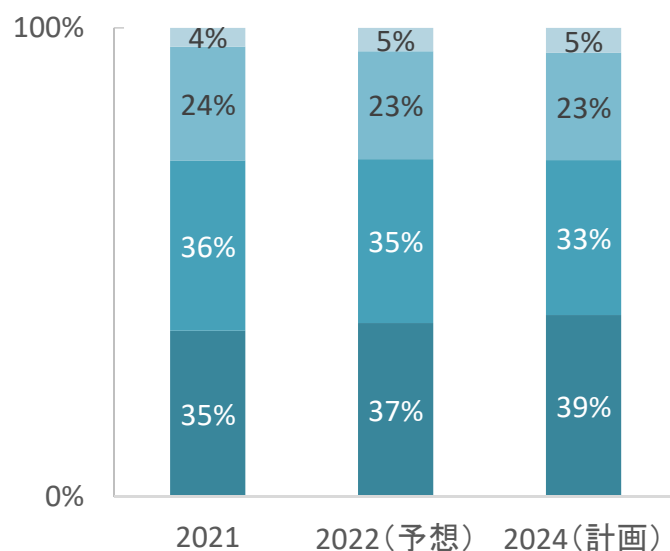


海外拠点の取り組み

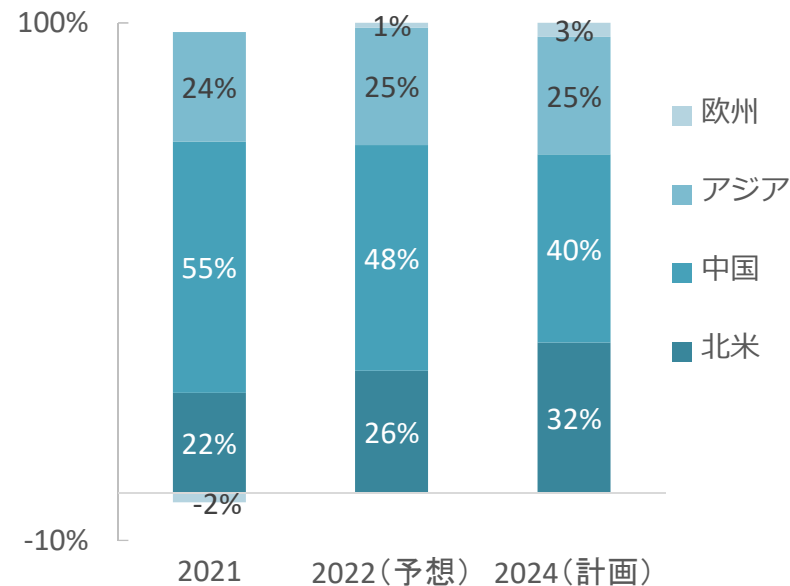
2024年度目標

- 北米（米国・メキシコ）／中国拠点現地ローカルOEMへの拡販による売上拡大
売上高比率（海外全体） 北米／中国 各**35%**維持
- アセアン・インド拠点の収益力向上 営業利益率：**15%**

海外拠点 売上高比率



海外拠点 営業利益比率



欧州大陸戦略

ドイツ駐在員事務所

時期	2022年2月開設
場所	ドイツ デュッセルドルフ市
役割	欧州地域における情報収集及び市場調査

- 欧州大陸戦略の足掛かりとして、駐在員事務所を設立
- 主力商品である自動車内装部品だけでなく、CASE、EV関連製品の受注獲得を目指す
- 欧州系OEM、特にドイツOEMへの拡販推進
- 欧州生産体制の再配置検討



2022年10月
IZB（自動車部品見本市）2022（独）初出展



展示：バッテリー関連部品

国内インフラ整備 — 1

将来の成長に向けたインフラ整備

1. 新真岡工場建設プロジェクト

第Ⅰ～Ⅱ期工事

- 着工：2022年12月
- 本格稼働：2023年度予定
- 総投資額：74億円 → 83億円 2022～2024年度
設備増設 + 資材等高騰等による費用増

今後の計画

- 2024年度 第Ⅱ期工事着工
- 2026年度 稼働（第Ⅱ期）
- 2030年度 稼働（第Ⅲ期）

<次世代型工場> グローバルマザー工場

- 次世代型設備、成形ラインの導入
- AI / IoT技術活用による自動化ライン
- DXによる生産現場の効率化
- 2030年生産性200%向上目標
- **カーボンニュートラル**に向けた取り組み



2022年11月24日 地鎮祭



国内インフラ整備 ー 2

2. 横浜地区リニューアルプロジェクト

- 横浜地区（本社、横浜テクニカルセンター）全体のインフラ整備を再計画。
- 本社の老朽化により、2022年3月本社を移転。同年10月より旧本社の解体工事開始。
- 働き方改革の状況を踏まえ、在宅勤務、フリーアドレスを積極的に活用し、インフラ整備による間接部門の生産性向上を目指す。



旧本社解体（横浜市岩井町）

資本政策

2022年5月 資本政策見直し

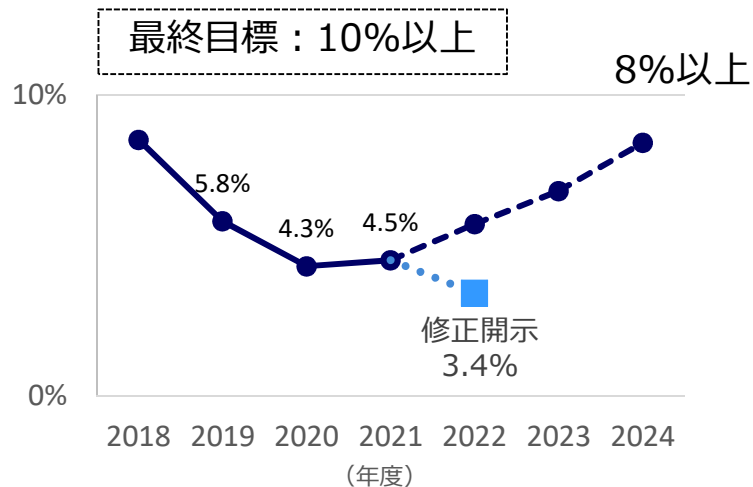
2022~2024年度 3期間 資本政策

- 自己資本の積み増しの抑制
- 配当性向100%
- 機動的な自社株の購入/消却

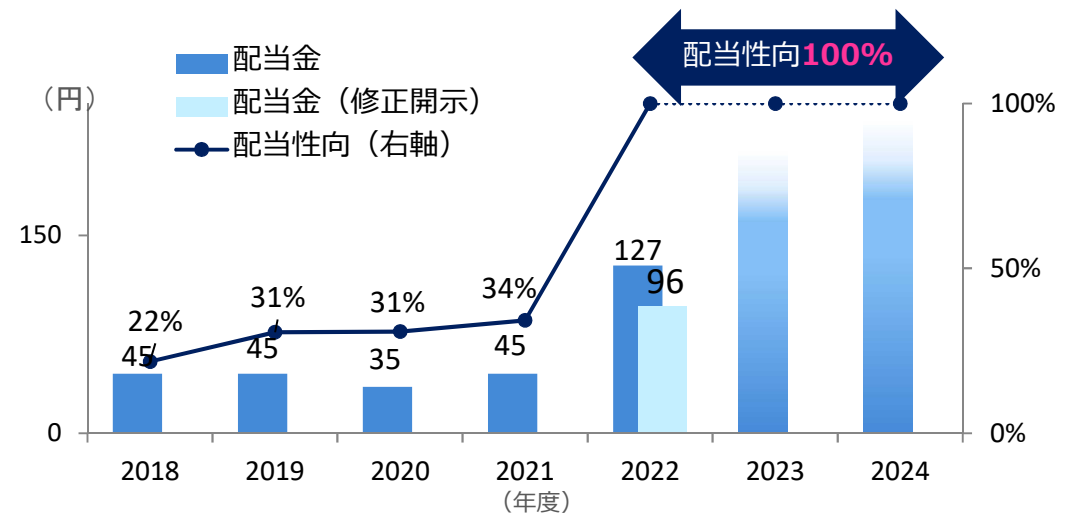
配当金

	前回予想	11月修正開示
第2四半期	60.00円	43.00円
期末	67.00円	54.00円
年間	127.00円	97.00円

ROE推移



配当金・配当性向推移



(注) 配当は、2017.4.1を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を3株に分割）後の値に調整しております。

ESG経営の推進 -1

脱炭素社会と循環型社会を目指した企業活動 (PIOLAX ESG Vision 2030)

気候変動への取り組み強化

2022年3月

- ・ TCFD提言への賛同表明
- ・ TCFDに関する情報開示
- ・ カーボンニュートラルロードマップ開示

2022年度

- ・ TCFDに関する情報開示の強化
(海外拠点での取り組み)
- ・ カーボンニュートラルに向けた具体的
施策推進

再生エネルギーへの取り組み

- ・ 国内外でのソーラーパネル導入進行
- ・ 2022年度は英国にてソーラーパネル増設
- ・ 新真岡工場における再エネ導入計画



ESG経営の推進— 2

安心して働ける活気ある職場づくり (PIOLAX ESG Vision 2030)

人財育成強化

2022年度

- ・ 人財育成方針の制定
- ・ 教育制度の拡充



企業の発展に貢献できる人
財育成の強化

ダイバーシティの取り組み

	2021年度 実績	2022年度 目標
女性管理職比率	3.5%	4%以上
女性新卒採用比率	27.2%	30%以上
障がい者雇用率	2.24%	2.3%以上

健康経営の取り組み

2022年度

メンタルヘルスへの取り組み

毎月1回の簡易ストレスチェックを導入。

従業員の心身の健康状態や仕事満足度

(ワークエンゲージメント) をモニタリング。

「健康経営優良法人2022」
(大規模法人部門) に初認定



医療機器事業の現況と展望

2022年12月9日（金）

(株)パイオラックスメディカルデバイス

代表取締役社長

佐藤精一

サマリー

- **2022年度上期業績と通期見込み**
- **当社の得意分野**
- **事業別トピックス**
- **COVID-19に対応した新たな施策**
- **中期計画進捗状況（2022～2024年度）**

2022年度 上期業績と通期見込み

(単位：百万円)

	上期 予算	上期 実績	達成率	前年 実績	伸び率
売上高	2,134	2,150	101%	2,292	▲6%
営業利益	▲37	100	267%	201	▲50%

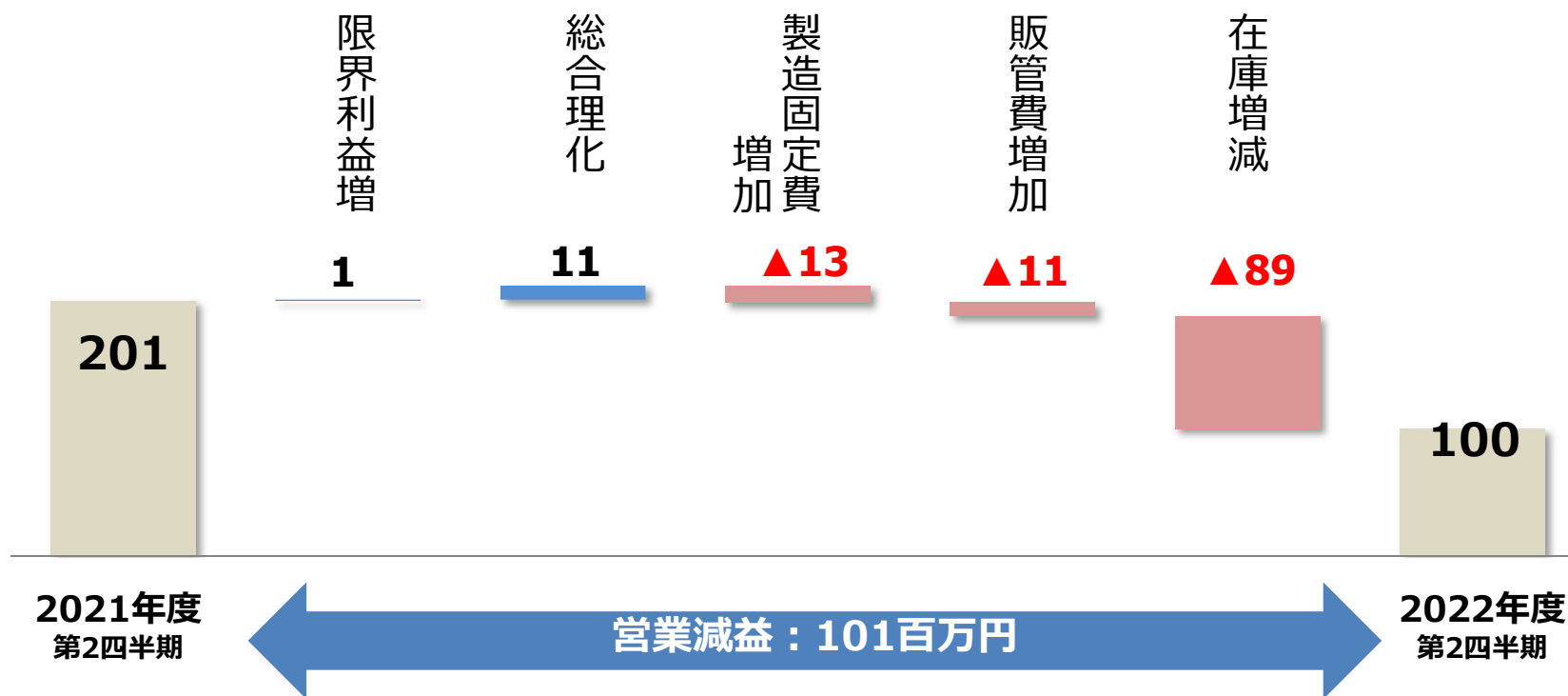
(単位：百万円)

今期予算	今期見通	達成率
4,356	4,323	99%
70	105	150%

※保険償還価格の見直し影響金額は対昨年度売上実績 ▲50百万円/年

営業利益分析(対前年比)

(単位：百万円)

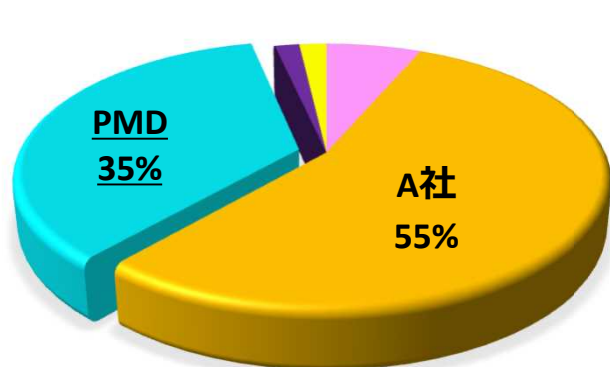


当社の得意分野：各種治療用ガイドワイヤ

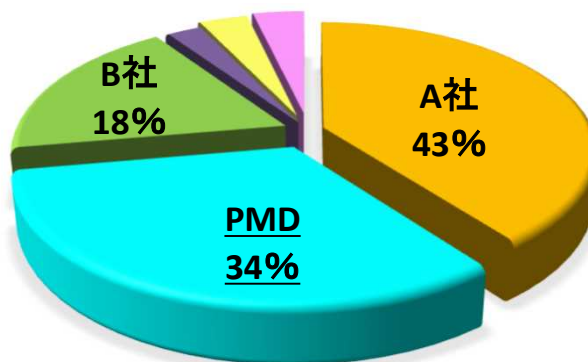
☆各種インターベンション（低侵襲治療）用ガイドワイヤを企画開発

✓ガイドワイヤのコア線に使用するNi-Ti合金の優れた加工ノウハウを持つ

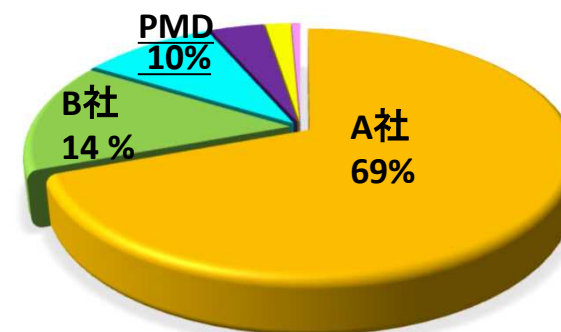
✓“親水性コーティング”及び“フッ素樹脂被覆”等の表面処理技術力を持つ



泌尿器内視鏡
GW：35%



消化器内視鏡
GW：34%



血管内（腹部）
GW：10%

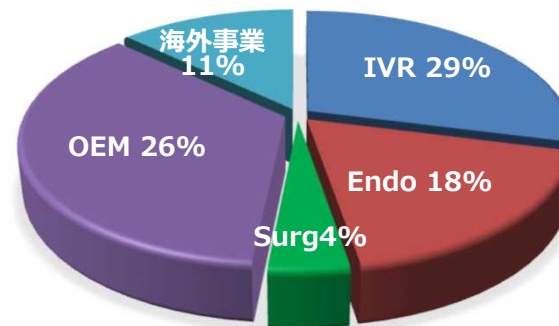
※PMD：(株)パイオラックス医療デバイス

※参考：矢野経済研究所2021年度版 及び R&D社胆膵系医療年鑑2020年度予測データからの自社推測値

事業別トピックス (2022年度)

製品群	マイナス面	プラス面
IVR 血管内治療デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 肝臓カテーテル治療デバイスは、新薬の影響等もあり対象症例減少 一部商品のラベル誤表記による自主回収発生 	<ul style="list-style-type: none"> 血管塞栓用マイクロコイルが、コストとユーザービリティの点から使用量増加
Endo 消化器内視鏡治療デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 主力のガイドワイヤが、COVID-19影響による部材供給不足で生産減となり売上減 	<ul style="list-style-type: none"> 胆管生検サポートカテーテル「エンドシーサー (Only One 新製品)」が好調
Surgical 脳神経外科頭蓋デバイス	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19影響による手術件数の減少により売上減 	
OEM (国内) 及び海外輸出		<ul style="list-style-type: none"> COVID-19影響による製品供給不安から特需による売上増 肝臓カテーテル治療デバイスの中国での承認取得による売上増

《今年度売上構成比率予測》



COVID-19に対応した新たな施策

《COVID-19による影響》

- 部材調達が不安定になったことによる製品欠品の長期化と新製品上市計画の遅れ
- 医療機関への営業訪問規制、外来者数減少、待機手術の延長による対象症例患者の減少
- 販促機会である学会・研究会のWEB併用（Hybrid）開催による医師との商談機会の減少

《新たな施策》

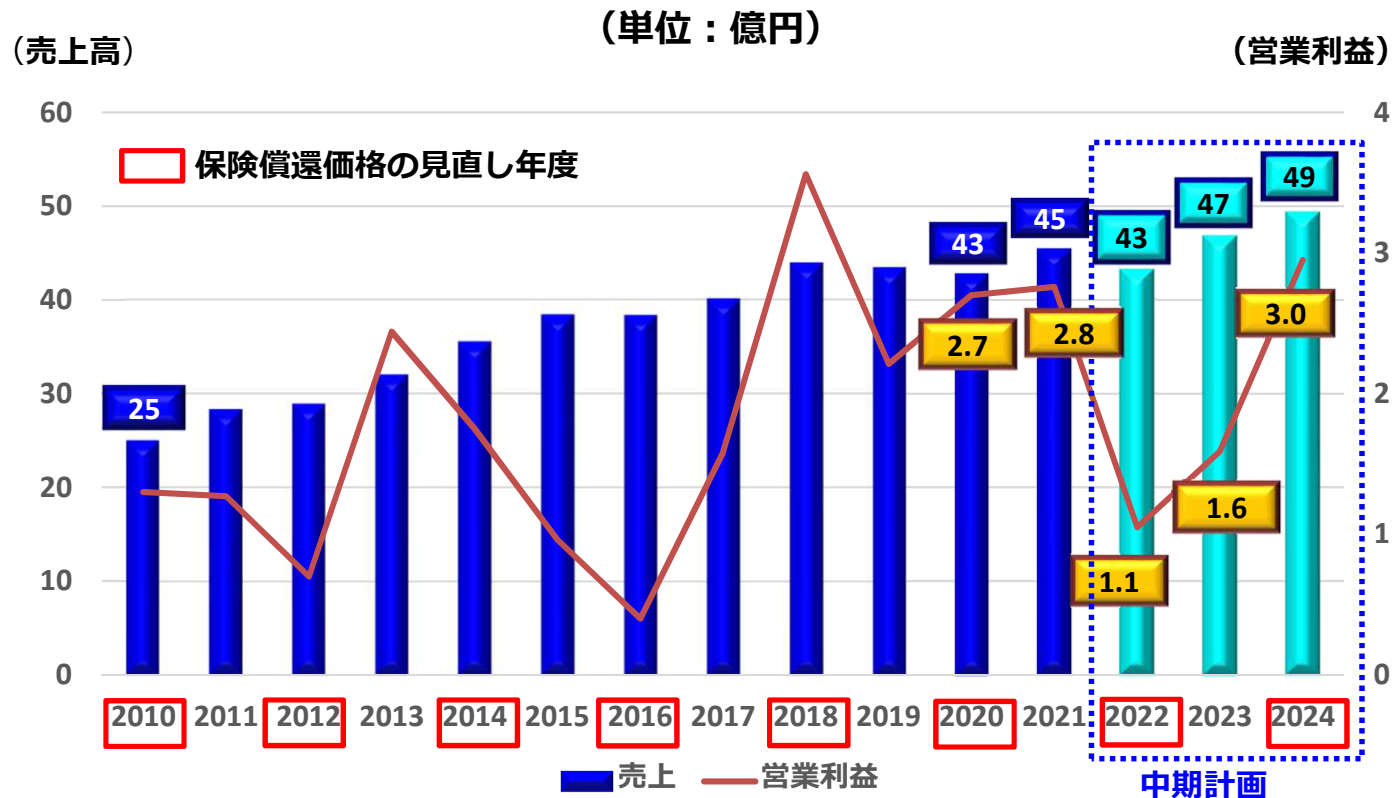
- Salesforce導入による顧客管理（CRM）及び営業支援（SFA）システムの構築と、マーケティング・オートメーション（MA）導入による多面的なマーケティング及び営業戦略・営業活動
- 販促スピードを加速させるための 戦略的OEM販売強化

《新製品候補 進捗状況》

領域	製品	上市計画	遅延
IVR (血管内治療)	Emulsion Connector (海外輸出用)	2022年 6月	2023年1月
	マイクロカテーテル他 計4部品	2024年度	無
Endoscopy (内視鏡治療)	EndoSelector2 ガイドワイヤ (OEM向け)	2022年 9月	2023年3月
	Dual Master HR025 ガイドワイヤ	2022年 8月	2023年5月
	Seek Master 025 ガイドワイヤ	2023年 4月	無
脳神経外科	チタン製プレート (頭蓋用)	2023年 1月	無
合計	9アイテム		

中期計画 (2022-2024)

1. 特定市場へ差別化商品の投入 (特定市場の差別化戦略)
2. 新商品導入スピードアップと新商品ラインナップ強化
3. 海外への進出強化 (各国規制対応強化)
4. 国内販売ネットワーク強化
5. デジタルシフトへの対応 ≒ with CORONA



Vision



**「手技の標準化」を実現する
患者さんに優しい医療機器を提供し、
医療の課題を解決します。**

(株)パイオラックス医療デバイス

Mission

「世界中の患者さんに笑顔を」

ご清聴ありがとうございました。

END

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2022年度第2四半期決算発表時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。